

『あいさつができる！後かたづけができる！』

辰巳 渚（池田書房、2007.10）

著者は「親お役目は、子どもが正しい道を進む道筋をしめしてあげること」と述べています。生きていくのに必要な「軸」をつくってあげることとだそうです。

◆しつけのための親の基本ルール

- 1 きっぱりとした態度をとる
- 2 子どもの相手をするときには集中する
- 3 お金をものさしにしない
- 4 親が自分の意見をもつ
- 5 パートナーが叱っているときは口出ししない
- 6 子どもに過干渉にならない
- 7 子どもを決めつけない
- 8 子どものご機嫌をとらない
- 9 ほめるときは本心からほめる
- 10 パートナーやその親への不満や悪口を言わない
- 11 叱るときは親とキッパリ判断する
- 12 子どもがしてだめなことは親もしない

◆あいさつができるためのしつけのポイント

- 1 親が進んで子どもや近所の人にあいさつをしましょう
- 2 あいさつは相手に届かなくては意味がないので、大きな声で恥ずかしいようなら、まずは目と目を合わせて会釈するだけでもよしとしましょう。